

3つの注力フィールド

1

安全安心リモート社会

リモートによる新しい価値の創出

全ての人が豊かで安全かつ 安心して暮らせる社会を リモート技術で創る

社会課題に対するKawasakiのソリューション

- 先進国を中心とした労働人口不足、3K職場に代表される労働環境の悪化などに対し、産業用ロボットの豊富な経験・実績を基に、自動化・リモート技術を用いたソリューションを提供し、課題解決に貢献します。
- 医療分野における患者の負担減ニーズ、医師の不足や負担増問題、地域による医療格差などの課題を解決します（手術支援ロボットを事業化）。
- 働き方・暮らし方の多様化が進む社会において、実作業を伴うリモートワーク環境を提供します。子育て世代や高齢者、健康上の理由などにより現場に行くことができない方々、海外の労働者、スキルドワーカーなど、距離に関係なく社会参加を実現します。
- 地震や巨大台風、パンデミックの発生など深刻化する災害に対し、高度かつ多様な輸送機器やエネルギー機器により被害の防止・軽減を図り、経済活動の継続と人々の安定した生活の維持に貢献します。



医療・ヘルスケア分野

自動PCR検査システム

長期化するパンデミック禍の中で人の往来を再開させ、社会の流動性の回復を図るには、感染症検査の拡大が必須です。当社はこれまでの課題をロボットにより全て解決し、短時間で連続大量かつ高精度の検査を実現する自動PCR検査サービスを提供しています。



スマホ等を使った
簡単な予約・受付



短時間かつ
高精度な検査



PCR検査拡大による
国内外の往来再開



人々が安全かつ安心して
暮らせる社会の実現

手術支援ロボット「hinotori™」

当社は1968年に日本で初めてロボットの開発製造に着手して以来、日本のロボット産業を牽引してきました。2013年にはシスメックス株式会社との合併により、医療ロボットに特化した株式会社メディカロイドを設立し、国内初の医療ロボットである手術支援ロボット「hinotori™」を開発しました。2020年8月に厚生労働省の認可を得て実運用を開始し、2021年5月末までに約20例の臨床を終え、執刀医から高い評価を得ています。今後は、対象診療科の適用範囲を広げるとともに、海外展開を図りながら、遠隔手術などの技術を確立していきます。



ANSWERS

患者と医師を支えるテクノロジー。手術支援ロボットが起こす革命
<https://answers.khi.co.jp/ja/connected-society/20210131j-01/>

新しい働き方・暮らし方の提案

リモートワークはまだ一部のみに限定されています。サービス業、製造現場、物流現場、また「危険な作業や重労働をなくしたい」といった社会ニーズや、働きたくてもさまざまな理由で現場に行くことができないなどの社会課題を解決すべく、ソニーグループ株式会社とリモートロボットプラットフォーム事業を行う合併会社を設立します。



遠隔地の現場



遠隔で作業する人

- 危険作業、重労働からの負担軽減
- 現場に行けない多くの人々に社会参加の機会創出など

「働く意欲のある人と、労働力を求める事業者」をつなぐ「プラットフォーム」を提供

災害への対応

当社グループはドクターヘリ、非常用ガスタービン、オフロード四輪車・二輪車などの災害対応製品を幅広く展開しています。また、輸送用機器、非常用発電設備、ロボットによる遠隔医療などにより、災害地や離島における被災者救済に貢献すべく、これまでに培った技術を結集した「救難病院船」を視野に検討を進めています。



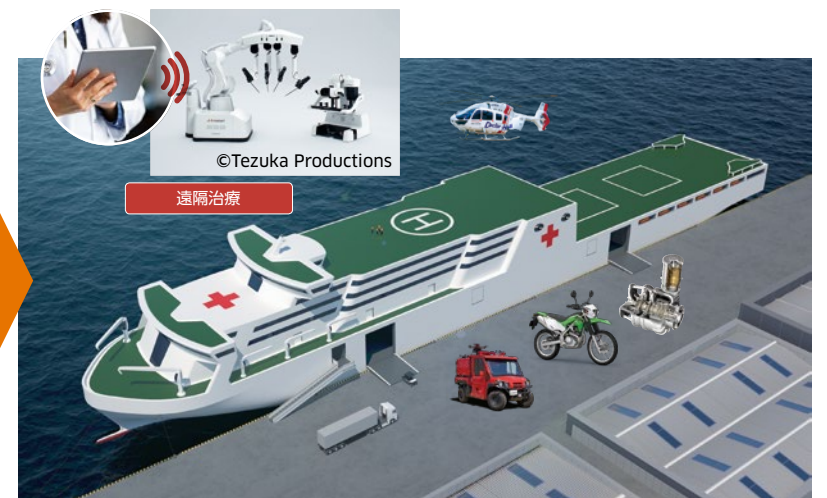
災害対応製品

ドクターヘリ

非常用ガスタービン

オフロード二輪車

オフロード四輪車



©Tezuka Productions

遠隔治療

各種災害対応製品を搭載し、ロボットによる遠隔治療が可能な救難病院船